

ESL サッカースクール

試合観戦時のマナーについて

選手たち（相手側も含めた）が楽しくのびのびとサッカーが出来るよう、以下の点についてご理解とご協力をお願い致します。

< 1. サイドコーチングは“ベンチからのみ限定”です >

サイドコーチングとは、試合中に選手へ具体的な指示を出すことです。例えば「外に出せ!」「シュートしろ!」など、選手に戦術的な指示を出すことを言います。

サッカーは、選手たち自身がその場で考え、動くスポーツです。型のスポーツではありません。試合を見ていて熱くなるのはわかりますが、選手たちの自主性を尊重してあげて下さい。

また、サッカーをはじめたばかりの子供たちが、動き方をわからないのも当然であり、リアルタイムに指示が必要な場合もあります。これらについてはコーチが行うものであります。試合に勝つためのコーチングも必要ですが、試合ごとにテーマを持たせたコーチングや、時にはあえてコーチングしない場合もあります。ご理解の程お願い致します。

< 2. “見守る”について >

(他人と比較するのではなく)自分の子供がどのように成長しているか過程を見守る事を意識し、結果だけを求めず、勝ちではなく価値(経験)を大切にしてください。自分の子供だけでなく、チームメイトにも興味関心の眼差しで温かく見守ってあげて下さい。

サッカーの経験値・スキル・フィジカル・性格・皆それぞれ違います。その事をリスペクト(尊重)し、温かい声援をもって応援をお願いします。

< 3. 審判のジャッジについて >

不平不満を“周囲に届く声”で出すことはやめましょう。

「ライン出ただろ!」「オフサイド取れよ!」などと心で思っているだけでもコートに届くような声を出さないようお願い致します。

また、選手に対し「●●君、そこはオフサイドだよ。下がって!」なども気をつけて下さい。言いたい気持ちはよくわかりますが…

< 4. 応援時のモラル作り >

観戦時のどなり声や、過度な笑い声は選手たちにはよく聞こえています。(相手選手や保護者、審判へも同様です)

サッカーは紳士のスポーツです。具体例として、以下の点は気をつけて下さい。

- ・相手選手の失敗を喜ぶようなこと。(PKを外した場合など)または野次を飛ばすこと。
- ・罵声を飛ばすこと。

応援と罵声は違います。Jリーグやプロ野球観戦ではありません。応援は「ナイスプレイ!」「がんばれ!」など温かいものに徹しましょう。きっと子供たちもうれしいはずです。

- ・ゲームには関係のない過度な笑い声をあげること。ゲーム観戦は楽しいものですし、もちろん笑いながらの観戦も当然必要です。選手が得点後に面白いパフォーマンスをして大笑いするなどは大いに結構だと思います。

ただし、ここでいう“笑い声”とは…保護者その場の会話に盛り上がり大声を出してゲラゲラ笑ったり、また保護者の野次に反応し笑って盛り上がる等のことです。

選手に笑い声は聞こえています。「何を笑われているのかな?」と気になる子もいます。それは、一生懸命にやっている審判もしかりです。

また、サッカーに“敵”は存在しません。相手選手や相手側保護者、審判への紳士的な対応も心掛けたいものです。

「ESLと試合をすると気持ちがいいね!」を目指しましょう。

以上のことを守り、子供たちが楽しくサッカーを出来るよう、温かい応援、サポートをよろしくお願い致します。